

平成25年行政事業レビューシート

(文部科学省)

事業名	産業教育総合推進事業		担当部局庁	初等中等教育局		作成責任者			
事業開始・終了(予定)年度	平成15年度・事業終了予定なし		担当課室	高校教育改革PT		主任視学官 望月 禎			
会計区分	一般会計		政策・施策名	確かな学力の向上、豊かな心と健やかな体の育成と信頼される学校づくり Ⅱ-1 確かな学力の育成					
根拠法令 (具体的な条項も記載)	-		関係する計画、通知等	教育振興基本計画(平成20年7月1日閣議決定)					
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	より多くの人々に産業教育に対する理解、協力を促し、新しい時代に即した高等学校における産業教育の振興・活性化を図る事業を実施する。								
事業概要 (5行程度以内。別添可)	高等学校生徒による産業教育に関する成果等の総合的な発表の場として全国的な規模で提供する全国産業教育フェアを、都道府県教育委員会との連携・協力の下で開催する。主な内容は、以下のとおり。 ○作品展示 ○意見・体験発表 ○作品・研究発表 ○フラワーアレンジメントコンテスト ○ロボット競技大会								
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他								
予算額・執行額 (単位:百万円)			22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求		
	予算の状況	当初予算	24.1	23	22	22	23		
		補正予算	0	0	0				
		繰越し等	0	0	0				
		計	24.1	23	22	22	23		
	執行額		22.4	24	22.3				
執行率(%)		92.9%	104.3%	101.4%					
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	22年度	23年度	24年度	目標値 (25年度)	
	産業教育フェアの来場者数			成果実績	人	86,000	96,000	101,000	100,000
				達成度	%	107.5%	120.0%	168.3%	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込	
	作品展示、作品・研究発表、意見・体験発表、協議会等の催事件数			活動実績 (当初見込み)	件	26	23	16	—
						(30)	(15)	(26)	
単位当たりコスト	1,088,000(円/1催事)			算出根拠	執行額÷催事件数 22年度:22百万/26件=846千円 23年度:24百万/23件=1,043千円 24年度:22百万/16件=1,375千円 3力年の平均値=(846+1,043+1,375)÷3=1,088千円				
平成25・26年度予算内訳	費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由					
	委員等旅費	1百万円	1百万円						
	庁費	18百万円	18百万円						
	教職員研修費	3百万円	3百万円						
計	22百万円	23百万円							

事業所管部局による点検						
	項目		評価	評価に関する説明		
国費投入の必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。		○	職業の多様化や職業人として求められる知識・技能の高度化に対応した実践的な職業教育の充実が求められているところであり、全国規模での成果発表・産業界との連携の場を提供することによって専門高校の全国的な活性化を図るために本事業は重要なものである。		
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○			
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。		○			
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		-	国費投入の対象経費は真に必要なものに厳選し、執行については相見積りや入札等の活用による効率的な執行となるよう指導している。また、開催要項に基づいて事業の実施状況及び経理状況について随時確認し、適正な執行を促している。		
	受益者との負担関係は妥当であるか。		○			
	単位当たりコストの水準は妥当か。		○			
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		-			
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○			
事業の有効性	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		-	開催県に過度に依存した経費の支出構造を解消するため、事業内容の見直しを図るなどして効率的な運営に努めた結果、見込み以上の来場者数となった。		
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		○			
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		○			
重複排除	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		-	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名			
点検結果	<p>当事業は、全国産業教育フェアを都道府県や地元産業界等との連携の下で開催することで、専門高校の全国的な活性化を図る上で重要な教育活動の場を提供する重要な事業であり、今後も継続して推進していく必要がある。</p> <p>開催経費の示達に当たっては、開催都道府県から提出された所要額を精査し、執行については相見積りや入札等の活用による効率的な執行となるよう指導するとともに、示達後は開催要項に基づき、事業の実施状況及び経理状況について確認し、適正に執行するよう指導しており、例年ほとんど不用品は生じていない。</p> <p>また、開催県に過度に依存した経費の支出構造を解消するため、事業内容の見直しを図るなどして効率的な運営に努めており、昨年度に謝金単価の見直しを行い予算を減額したところであって、現状の予算額を維持する必要がある。</p> <p>なお、限られた予算内で更により多くの成果を引き出すため、例年開催経費の多くを占める会場借料及び印刷製本費について、開催地の都道府県に対し、最小単価で最大の効果を発揮するよう、入札等を活用した効率的執行を更に徹底する。</p>					
外部有識者の所見						
外部有識者による点検対象外						
行政事業レビュー推進チームの所見						
事業内容の改善	<p>1. 事業評価の観点:この事業は、より多くの人々に産業教育に対する理解、協力を促し、新しい時代に即した高等学校における産業教育の振興・活性化等を図るため、平成15年度から実施している事業であり、予算執行状況及び長期継続事業の観点から検証を行った。</p> <p>2. 所見:この事業は、全国産業教育フェアを都道府県との連携の下で開催する事業であり、専門高校の全国的な活性化を図るうえで重要であるが、平成15年度から長期に実施しているものであり、年々単位当たりコストが増大していることから、事業の成果・有用性についての検証を行うとともに、更なる事業の効率化を目指し、積算単価を再検証するなど、引き続きコスト削減に努めるべきである。</p>					
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況						
縮減	<p>本事業の運営においては、開催地の実情に応じ、効果的な催事内容を適切に定め、開催地の負担軽減を図りつつ効率的な運営ができるよう、平成23年に開催要項を改正した。開催要項を踏まえ、本事業の実施に当たっては、自治体施設の最大限の活用、催事内容の厳選及び簡素化など事業内容の効率化を図ることで、自治体に依存した支出構造を解消し、開催経費総額の圧縮を図るよう改善を図っている。</p> <p>一方、近年、単位当たりコストが増加していたことから、平成25年度実施のフェアにおいては、内容を検討し、催事件数を26としている。これにより、単位当たりコストは22,446千円/26=863,308円/1件となり、前2年を下回り、平成22年度水準まで改善したところ。</p> <p>また、更なる事業の効率化を目指し、事業内容の一部を24年度限りとしたほか、旅費積算単価の見直しにより、概算要求に▲0.3百万円反映した。</p>					
備考						
関連する過去のレビューシートの事業番号						
	平成22年	0065	平成23年	0091	平成24年	0099

※平成24年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

文部科学省
22 百万円

〔職員旅費 0.2 百万円〕を含む

〔高等学校生徒による産業教育に関する成果等の総合的な発表の場として全国的な規模で提供する全国産業教育フェアを、都道府県教育委員会との連携・協力の下で開催する。〕



〔 委 嘱 〕

A. 産業教育総合推進事業
岡山県：22 百万円

〔高等学校生徒による産業教育に関する成果等の総合的な発表の場として全国的な規模で提供する全国産業教育フェアの開催。〕

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位：百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」に
 おいてブロックご
 とに最大の金額
 が支出されている
 者について記載
 する。費目と使途
 の双方で実情が
 分かるように記
 載)

A. 岡山県			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
庁費	会場設営運営委託経費等	18.1			
教職員研修費	大会報告書印刷製本費等	3.0			
委員等旅費	子ども見学デー派遣旅費等	0.8			
諸謝金	講師謝金	0.02			
計		21.92	計		0
B.			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト
 A. 産業教育総合推進事業

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	岡山県	全国的な規模で提供する全国産業教育フェアの開催	22	—	—
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					